

・顕現後第四主日

泉のほとり



今月の詩編 「第二十九編」

神の子らよ、主に帰せよ

御名の栄光を主に帰せよ

栄光と力を主に帰せよ

聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。

「わたしのことばにどどまるならば、あなたがたは本当にわたしの弟子である。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にする」と語られました。しかし、「自由にされる」と言われても、彼らは自分が不自由で、束縛されているとは見ておらず、私たちはアブラハムの子孫で奴隸になつたことがないと回答したのです。

主は「罪を犯す者はだれでも罪の奴隸である。奴隸は家にいつまでもいるわけにはいかないが、子はいつまでもいる。だから、もし子があなたがたを自由にすれば、あなたがたは本当に自由になる」とお答えになりました。人を本当に自由にするのは、人の「罪」であると。

主は「あなたがたがアブラハムの子孫だということは、分かつている。だが、アブラハムの子なら、アブラハムと同じ業をするはずだ。あなたがたは、自分の父と同じ業をしていふ」と。また「神があなたがたの父であれば、あなたがたはわたしを愛するはずである。なぜなら、わたしは神のもたら来て、ここにいるからだ。わたしは自分勝手に来たのではなく、神がわたしをお遣わしになつたのである。わたしの言つてることが、なぜ分からぬのか。それは、わたしのことを聞くことができないからだ」と言われるのである。「あなたがたは、悪魔である父から出た者であつて、その父の欲望を満たしたいと思つてゐる。悪魔は最初から人殺しであつて、真理をよりどころとしている」と。これを聞いたユダヤ人たち、憤りが込み上げ、實にひどい話、惡態を聞いたとでも思つたのでしよう。しかし、主は人が他の人に「悪魔の子」とのしるような人身攻撃の言葉を口にする方ではあります。彼ら自身は聞きたくない話ですが、主イエスはご白身に見えている事実をありのまま、告げ知らせたのです。その実態が「神の子」ではなく、「悪魔の子」だつたからです。そ

主イエスが彼らの反感を引き起こすようなことを言わないでいれば、むしろ聞けば嬉しくなるようなことを言っていたなら、十字架の道を歩かなくて済んだでしょう。しかし、そうされませんでした。「殺そう」としている反感、殺氣を知り、浴びながらも、彼らに真実をお示しになつたのです。彼らが本当に自由になることを願つておられたからです。それのみならず、ご自身の十字架を、神の前で人の罪を償うものとされたのです。

「あなたがたの父は悪魔、あなたがたは悪魔から出た」とは受け入れ難い話です。キリストを殺すほど、殺したほどに耳を塞ぎたい話です。しかし、主は彼らを罪に定め、断罪するためにそう告げられたではありません。彼らの救いのため、たましいを解放し、自由を与えられるのです。そこで、重大になつてくるのは「悪魔」と言われることばでも聞く用意があるかということです。人にできないことは自分が否定されることばを聞くことです。

にできなれば、大より上に立つことはなく低くなること、強くなることではなく弱くなること、従うこと、誰よりも先になることではなく皆より後になること、偉くなることではなく人の奴隸になること、栄光を受けることではなく人のために恥辱を受けることです。キリスト者が目指すそれらすべての自由に最も先立つものがあります。自分自身を照らす主イエスのことばを「聞く」ことです。それがどんなことばであれ、聞くことができるか。それができる自由が先立つものです。

主はご自身を信じた者たちに語られました。「わたしの言葉にどどまるならば、あなたがたは本当にわたしの弟子である。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にする」と。主イエスの真理のことばは人を光に満ちた自由に生かすために、人の闇を加減なく照らすことがあります。それは人を愛し、人を癒すためです。飾りのない真実が突きつけられることがあります。そんなことばも聞けば、人にはいのち、自由を与えるこ

『詩篇119編を読む』

2023年度

教
會全體課題

日々聖書に聞き、

御言葉に従つて歩む。

協会共同訳 アイン（ヘブライ語の第14番目のアルファベット名称—）の121節～128節はヘブライ語聖書でアインから始まつてゐる。）

一二一 私は公正と正義を行います。
虐待する者らに私を委ねないでください。

○ 懇いのみぎわ第一二〇号が発刊されました。

○ 三月三一日のイースター礼拝で受洗・転入会を行います。教会員はご参加ください。

○ 三月三一日のイースター礼拝で受洗・転入会を希望の方は本日中に牧師宛願書をご提出ください。願書は事務所にあります。

役員会より

皆さまの状差に二〇一四年度役員・委員被選挙有資格者名簿と推薦者投票用紙を配布しました。投票は二月四日午後一時まで受け付けますので、それまでに用紙を事務所へご提出ください。

2023年度 心に刻む御言葉

あなたの僕をあしらつてください。

あなたの大教でください。

私に悟らせてください

あなたの定めを知ることができますように。

一二六 主の働く時です。

彼らはあなたの律法を破りまして

二七 それゆえ金より純金より
私はあなたの戒めを愛します。

一二八 それゆえ、あなたのすべての論しに従つて

私はまっすぐに歩き

《今後の予定》

○二月四日 信仰者に学ぶ会
○二月一四日 レント入り
○二月一八日 定例役員会

《四国便り》

「開拓20周年を迎えて」（その8）
「たとえ、遅くなつても、待つておれ。

それは必ず来る、遅れることはない。」

（ハバクク書 2章3節）

若い頃から、「世界で一番行つてみたい国は？」と聞かれる、私は迷わず「イギリスです！」と答えました。

一般的な観光には関心が無かつたのですが、イギリスの古い教会、修道院だったが今は教会、というような場所を訪ねてみたいと思つていました。ほかには18世紀後半に、産業革命の影響を少しも受けずに残った村『コツツウエルズ』を訪ねたかったのです。

開拓20周年の記念を迎えた2023年に、古い教会を訪ね、コツツウエルズの村を訪ねる夢は叶いました。イギリスはすでに行つた国となり、信仰深く敬愛する人たちの住んでいる国となり、信仰をとおして忘れ得ぬ人たちの住む、世界中で最も慕わしい国になりました。この体験は現在も進行形を保つて、わたしの中に生ける主なる神さまを呼び起し、そして平伏す思いで主を讀んでおります。

毎朝、4時にイエス様が私を起こしてくださいます。

目覚めの瞬間は、驚くほどはつきりとしており、私は衿を正して「主よ、どうぞお語りください」と姿勢を整えます。祈りでは、主の数えきれないご恩寵に感謝し、お示しくださる悔い改めや、執りなしの祈り、真実な礼拝へとお導ぎくださいますように毎朝切願しております。

私は献身した頃から、職人さんと呼ばれる人たちと話が弾み、意気投合することが良くあります。それが不思議で仕方がありませんでした。しかし、最近になつて気づきました。「現場主義」という生き方が共通しているのかも知れないと。

現場監督は主なる神さまなので、一切のことは、ご指導通りに働いてゆきます。牧会でも、それは貫いてまいりました。

先日、イギリスより恵子ホームズさんがランを通して語つてくださいました。2021年に西条の教会をお訪ねした時、教会の中に、素晴らしい主のご臨在を強く感じましたとの、ご自身の感動を伝えてくださり、私は直ちに主にご報告いたしました。

イエス様のお約束で、「聖靈があなた方の所に行けば、罪につき、義につき、裁きについて、教えます」との御言葉こそが全てだと思つています。私が何かを考えはじめると、それが心痛む内容であれば必ず、ハバクク書2章3節の御言葉で、待つてになさいとお勧めしださり、やがて素晴らしい現実が与えられるのでした。ご聖靈がのぞんできださる幸いな毎日に感謝して歩んでおります。

キリスト品川教会の牧師先生方と教会員の皆さま、シリーズ「その8」までご愛読いただき、有難うございました。お懐かしい皆様に、主の麗しき祝福が、いつも満ち溢れ増すように、お祈り申し上げます！

シン・オルゴスペル・チャーチ
ヴェロニカ・田端良恵

《コインニア教育センター 有志の方々より》

次週の子ども礼拝、主日礼拝の後、それぞれ30分ほど、色鮮やかなコインニアグッズを販売します。

どうぞお立ち寄りください。スイーツも同時に販売予定です。場所はディアコニアショップの前です。

《教会事務所より》

主日予定表の教会暦の記載に誤りがありました。（誤）1月7日降誕後第二主日→（正）顕現後第一主日です。その後14日、21日がそれぞれ顕現後第二、第三主日となり、本日は顕現後第四主日となります。お詫び申し上げます。

《今日の子ども礼拝》

説教 「自分の大切さを知る」

聖書 マタイ6章25～34節

説教者 吉村和雄名誉牧師

●子ども礼拝（午前10時30分・地下ホール）

説教 「主の言葉を聞いて行う人」

聖書 マタイ7章24～27節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝（午前10時30分）

讃美歌 130番

340番

説教 「見えると言つてはいるから罪は残る」
聖書 ヨハネ9章1～12節、35～41節

説教者 黄允湜牧師



主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 93番 191番
 説教 「祈りによらなければ」
 聖書 マルコ9章14~29節(新約 P.78)
 司式 山下 純一兄
 聖餐司式 黄允湜 牧師
 説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「われ不安と悩みにあるとき」J.S.バッハ

○讃美歌93番

1.みかみのめぐみを おもいみれば
 うれしさあまりて うたとぞなる
 2.まよえるときには みちをしめし
 おごれるときには むちをたまう
 3.この身にあまれる みいつくしみ
 おさなきときより いやつもりぬ
 4.つもりにつもれる みめぐみをば
 この世に、かの世に うたいづけん
 アーメン

○聖歌隊による讃美

「主は呼び給う」W.L.トンプソン 作曲
 やさしく主は呼び給う すべての人を
 門に立ちて待ち給う すべての人を
 来たれ疲れた人よ
 熱き想い込めて主は あなたを待ち給う

われに来よと主は今 やさしく呼び給う
 などて愛の光を 避けてさまよう
 帰れや主に わが家に帰れやと
 主は今やさしく呼び給う

疲れ果てし旅人よ 重荷おろして
 来たり憩え わが主の愛のみもとに
 迷う子らの帰るを 主は今待ち給う
 罪も咎(とが)もあるままに 来たりひれ伏せ

帰れわが家に疲れた人よ
 熱き想い込めて 主はあなたを待ち給う
 アーメン

○讃美歌191番

1.いともとうとき 主はくだりて
 血のあたいもて 民をすくい
 きよき住居を つくりたてて
 そのいしづえとなりたまえり
 2.四方のくにより えらばれど
 のぞみもひとつ わざもひとつ
 ひとつのみかて ともに受けて
 ひとりの神を おがみたのむ
 3.数多のあらそい み民をさき
 世人そしりて なやむれども
 かみはたえざる いのりをきき
 なみだにかえて 歌をたまわん
 4.世にのこる民 去りし民と
 ともにまじわり 神をあおぎ
 とわのやすきを 待ちのぞみて
 君の来ますを せつにいのる
 アーメン

聖餐曲「悩む者よ、とく立て」D.ウット

後奏曲「フーガ ハ長調」D.ブクステフーテ

* 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。